

平成28年11月25日経済財政諮問会議 総理指示
(関係部分の抜粋)

(安倍内閣総理大臣)

第二に、社会保障改革と地方行財政改革について議論しました。

まず、薬価について、オプジーボの価格を、来年2月から早速、5割引き下げることといたしました。

本日の議論では、民間議員から提案のあった薬価の改定ルールの抜本的見直し、透明性の向上、新薬の評価の際の費用対効果の反映などが重要といった指摘がありました。

こうした民間議員の提案も踏まえ、薬価制度の抜本的改革に向けて、諮問会議で議論し、年内に基本方針を取りまとめていただきたいと思えます。

※ このほか、塩崎厚生労働大臣からは、民間議員からの意見を踏まえ、薬価の抜本改革に取り組みたい旨の発言があり、麻生財務大臣からも、厚労大臣と相談しながら抜本改革を検討したい旨の発言があった。また、菅官房長官からは、薬価の毎年改定と新薬創出・適用外薬解消等促進加算制度の強化が重要との発言があった。